



発表会の練習が始まりました！

五月に入って発表会の練習が始まりました。それまでのレッスンを決しておろそかにはうけているわけではありませんが、やはり、振り付けがはじまると子どもたちの目の輝きが違ってきます。どんな話？どんな役があるの？聞かせて！教えて！そして熱心に話を聞く子どもたちの、振り付けをワクワク待つ子どもたちのなんとかわいいことか！がんばっておもしろい話を考えよう、楽しい振り付けを考えよう、と思えてあげさではなく子どもたちから明日を生きる力をもらっています。

花たちは精いっぱい今を咲く

・プロローグ

アゼル（去年の主人公・宇宙の妖精）は宇宙の友だちに「地球の除染に来てください」のパルスを送りました

- ・4月 やあ こんにちは（青森県） りんごの花 ハクチョウ 春風 キャット
- ・5月 きれいな空です（岩手県） きりの花 キジ キャット
- ・6月 みんなでがんばってます（福島県） ねもとしゃくなげ キビタキ キャット
- ・7月 はじめまして よろしく（山形県） べにばな オシドリ さくらんぼ 夏の光 キャット
- ・8月 やっとさいた ひまわり アカトンボ キャット
- ・9月 これどうぞ ききょう キチョウ キャット
- ・10月 またあえたね（宮城県） みやぎはぎ ガン キャット
- ・11月 おいしい空気ですこと のじぎく コウノトリ 秋の風 キャット
- ・12月 どうぞ きいてください 鐘の渡り ミヤマカラス 蝙蝠傘の人 キャット
- ・1月 寒いだろう？ ふくじゅそう すいせん マナヅル 冬の光 キャット
- ・2月 強いなあ（秋田県） ふきのとう うめ ヤマドリ キャット
- ・3月 そろそろやってくる頃だ じんちょうげ やぶつばき ウグイス チョウ キャット

・エピローグ

花が咲きました。咲いてくれました。

今年の発表会はどんな踊りを踊ってもらおうかと考えていました。

いつも頭から離れないのは東北のこと。花たちはいつものように いつもの季節に咲いたのだろうか。そこで 東北 6 県の県花と県鳥を調べ 月ごとにあてはめました。12 月はちょっと外れていますが研究科生たちが踊ります。阪神淡路大震災のあと「花ひらく神戸」を出版し 3 年前の東北の地震と津波と原発事故の 3 重の災害のあと「三陸の花」を出版された安原修次さんの 2 冊の本とフォトジャーナリスト佐藤慧さん（岩手県出身）が出版された「Fragments—魂のかけら東日本大震災の記憶」を参照しました。

藤田佳代

ぼくのヒムカをさがして

ヒムカと別れて二カ月がたった。ヒムカに会いたくて、会いたくて、ぼくは帰って来た。

でも、ヒムカはいなかった。ヒムカ、どこに行った？どこにいる？毎日ヒムカをさがして歩いた。そんなある時・・・

カワセミが「ヒムカを山の中でみかけたよ。」と教えてくれた。

山！霧におおわれたその山には決して入ってはならない。夏でも氷のような風が叫び声をあげて渦巻き、オオヤマツミという恐ろしい何ものかが住んでいると言う。山に入った人は二度と帰っては来ない。

でも、ぼくは山に行く決心をした。ぼくはヒムカを迎えに行く。

山の入口でコウモリにおそわれた。必死に逃げていると、「お前、人間か？よく来たな。おい！何かやってみろ」と耳元で声がした。

「この山にオオヤマツミさまと、ぼくたちきょうだいであらしておるんだ。ぼくはアシナヅチ。もう大丈夫だよ。」

オヤマツミ様の 12 柱のこども、アシナヅチ、テナヅチ、イノカナリ、ツチクリダケ、タマムカヒラコ、イワナガ、オオモノミサカ、タカナノホムラ、コノハナサクヤ、カムオオイチ、カノカナリ、アマサカルヒムカツの案内で山の中を、ヒムカを探して歩いた。歩いて、歩いて、ついにオオヤマツミ様がぼくの前に現れた。そして、オオヤマツミ様に抱かれて・・・

本文中には書いていませんが、「ぼくのヒムカをさがして」は、東日本大震災でペットと別れてしまった男の子を設定しています。避難していた男の子が一人で帰ってきて、死の山と呼ばれる所（福島第一原発）に大切なヒムカを探しに行く…不可能であり、かつ決してしてはならないことですが、ペットと別れて、悲しみと悔恨とどこにも持って行きようのない感情を抱えた方たちが、こうしたいのではないかと思われることを、「ぼく」にさせて、私がこうあってくれたらいいのに、と思う形で終わらせました。ペットを一時的にせよ置き去りにしたこと、その時のやり場のない感情は、私自身の阪神淡路大震災の際の経験でもあります。

それから、ヒムカがどんなペットであるかも書いていません（オーソドックスなペットです）。ぜひ、発表会の本番を楽しみにして下さい。

菊本千永

藤田佳代舞踊研究所のここが好き！

今回は生徒さんの文章のみ載せさせていただきました。書いてくれたみなさんありがとうございました。

保護者の方々のお話は、次の号です。

バレエはたのしいです。これからもじょうずにがんばります。 荒蒔希実 (年中)

おねえちゃんのおどりをみてならいたくなかった。おどるのがたのしいからずっとつづけたい。山鹿愛和 (年長)

おどりがすき！！そくてんができるようになったのがうれしい！！ 宮本芽泉 (小1)

バレエはたのしいです。これからもがんばります。 荒蒔来実 (小2)

わたしはかなこ先生と出あえて本とうによかったです！そのわけはおどりにすごくかわいいふりつけがしてあるからです。とくに1きょくめは、おひぎ(右・左)、キリキリ、ピョンピョン、ほっぺです。わたしはかなこ先生のかわいいフリが大すきです。これからもずっとよろしくおねがいします。 石川歌純 (小2)

わたしは、バレエでいちばんたのしいところは、じゃんぶです。なぜかという、わたしはたかいたころがすきだから、じゃんぶがすきです。こいのじゃんぶがすきです。先生はやさしいし、ちょっとしかおこらないから、先生はすきです。 外山実優 (小2)

わたしはおどるのがたのしいので大すきです。ときどきまちがえるときもありますが、できたときは、とてもうれしいです。これからもがんばりたいです。

福本莉菜 (小2)

からだやわらかくなったこと。たちブリッジができたこと。もっといろいろなことができたらいいなとおもいます。 板井千夏 (小2)

はっぴょう会の役がたくさんあっておもしろいところです。ジャンプもだいすきです。 岡村春花 (小2)

おともだちがふえてうれしくて、からだやわらかくなってとくいなことがふえてうれしいです。 大久保愛菜 (小2)

足かけとたちブリッジとでんぐりがえりとそくてんのじゅぎょうがすきです。♪あと、せんせいがやさしいのもすきです。 落合美月 (小2)

いろんなふり、うごきがすき！毎年のはっぴょう会のお話がすき！先生やお姉さんたちが教えてくれるので、れんしゅうがとても楽しいです。もっとうまくなりたいです。

山鹿和奏 (小3)

先生のおけいこはきびしいけどやさしいところが好きです。いつもどんなときもちゃんと注意してくれる先生が好きです。 村上朝香 (小3)

友だちも、えがおでいっしょうけんめいおどっている所。ダンスのおどりで自分でふりつけを考えさせてもらえる所。 山内愛子 (小3)

体をやわらかくしてたちブリ※したい。 阿部心渚 (小4) ※立った状態からブリッジをすること

体がやわらかいままでいたいから。 宮脇あやね (小4)

体育のじゅ業でほかの子ができないことが、バレエをならっているおかげで自分だけできたりするところです。 島津風花 (小5)

色々なジャンルの曲、さまざまなストーリーにあわせて踊れるので、いつもどんな曲だろう？どんなお話かな？とワクワクします。発表会では自分でふり付けを考える部分もあって、楽しいです。先生方は優しく、時にきびしく指どうしてくださいます。できなかったことができるようになった時はすごくほめてくださるので、もっとがんばろうという気持ちになります。 門家由采 (小5)

お話がおもしろい所です。特に昨年のクリスマス会火曜日児童科の秋と冬が戦う話が楽しかったです。 藤井花名 (小5)

相談のつてくれるところが好き。 細田和海南 (小5)

私が、藤田佳代舞踊研究所で習っていて良かったと思ったのは、一つ目は、友達ができただけです。友達がいるので分からないところや、難しいところを、教え合えるからです。二つ目は、発表会に出られる事です。練習はハードだけどその分うまくなれるし、ほかの教室の友達と交流もできます。それに、いろんな人に自分たちが練習してきたバレエを見てもらえるので、嬉しいんです。あと、物語も面白いので、これを自分が踊れる！と思うと嬉しくなります。 橋尚海 (小6)

私はバレエで先生が見本をみせてくれて分かりやすいです。おどりもみんなで楽しくできるのでいいと思いました。モダンバレエをこれからもがんばっていきたくたいです！

外山舞桜 (小6)

技術がどんだんのびていく所。わざが出来たときに、いっしょに喜んでくれる所。 原田光琉 (小6)

発表会が楽しいところ。体がやわらかくなり、姿勢がよくなる所。 濱田伶衣 (中1)

踊ることが大好き。発表会でかわいい衣装を着るのが楽しみ。 増田咲良 (中1)

私は、年に一回ある発表会が大好きです！先生方が作られる作品は、いつも独創的で興味深いです。そして、他の支部教室の友達にも会えるからです。

木村はな (中2)

私はたのしくバレエダンスのおどりをしていてうれしいです。いつもありがとう。おかげでここが好きになれてよかったです。私、レッスンさせてもらえてうれしいです。

藤井佳子

家族全員でお世話になり、とてもうれしいです。先生とお会いしお話しするだけでも心が晴れます(もちろんバレエも楽しいです)。発表会のレッスンの時は「どんなお話か、配役か、音楽か、踊りかな」とワクワクしてとても楽しみになります。だからずっと続けたいと思います。 稲益夢子

私が今まで藤田佳代舞踊研究所でバレエを続けていて良かったと感じたことは、父と同じ舞台上に立てたこと。父は2年前に亡くなりましたが生前に一度だけ、拍踏衆として舞台上に立ったとき「愛理と同じ舞台上に立てるなんて思っても見なかった。佳代先生には感謝している」と言っていました。藤田佳代舞踊研究所の良いところは、ダンサー一だけで踊りを創るのではなく、家族やお客様、スタッフと共に舞台を創り上げるところだと思います。 平岡愛理

新人です。運動嫌いと年齢のせいで踊れるとはいえないレベルですが、ていねいにご指導いただきあわせて。 長谷井潤子

私は昔、娘が習っていたので定年後に近くでレッスン場があれば常々思っていました。見学のつもりで行ったのですが、即「やってみて」と寺井先生！「えっ～」と思いつつドキドキしながらパーを持ちました。帰宅後ぐったり。起き上がりもできませんでした。でも、1年4ヶ月後初舞台も踏めました。知人5名紹介させていただきましたが、内2名はずっと続けてくれてます。二人とも感謝してくれています。口をそろえて言えるのは、いい汗かかせてもらっているよねえ、体がすっきりしてぐっすり眠れる、曲に合わせて覚えようとするけど・・・すぐに忘れる。でも休もうとは思いません。スッキリ感がたまらないのです。体が動く限りは続けたいという気持ちにさせてくれるところが好きです。 西村久美子